

市仏連会報

発行所
 横浜市中区大平町96
 光明山西有寺内
 横浜市仏教連合会
 電話 045(661)0166

昭和六十三年五月三十一日横浜
 市仏教連合会第十五回定期総会が
 中区西有寺で開催された。

午後二時、例によって副会長の
 開会の言葉、続いて会長の挨拶、
 そして議長には瀬谷区仏教会長の
 尾崎正恵師が選出され議事に入っ
 た。第一号議案は、昭和六十二年
 度事業報告を玄野専務理事から発
 表され、続いて第二号議案の昭和
 六十二年度決算報告を会計の内野
 公雄師から発表され、続いて監査
 報告をいたゞき質疑応答に入った
 が全て全員の承認を得ることがで
 きた。

第十五回総会開かれる 佐藤副会長退任せらる

続いて第五号議案の昭和六十三
 年度事業計画案を再び玄野専務理
 事から発表、続いて第六号議案の
 昭和六十三年年度予算案を会計の内
 野師から発表され質疑応答に入り
 これも無事全て承認された。

第八号議案は永年御活躍いただ
 いた市仏連副会長の佐藤泰心上人
 が任期途中ではあるが、大円寺の
 現住職を若さまにおゆづりになる
 など種々の事情により副会長を退
 任なされることになった。まことに
 残念ではあるが、市仏連として
 永年の御苦労に感謝申し上げる次
 第である。そしてその後任として
 どなたを推選するか点については、
 先の常務理事で、残任期間も
 わずかであることから玄野専務理

事が残任期間中兼任することに決
 定したため、会則に従ってこれを
 常務理事会で承認され、さらにこ
 の総会に計ったところ全員の讃同
 を得て玄野師が副会長を兼任する
 ことに決定した。

第九号議案は春の仏跡参拝旅行
 の件で、今回は曹洞宗の可睡斎と
 真言宗の法多山の参拝に決定し皆
 さんの御協力をお願いした。

そして最後に県仏会長福永隆昭
 上人の祝辞をいたゞき閉会の辞と
 なった。総会終了後、前副会長佐
 藤上人の大円寺を役員で訪問し感
 謝の意を表して散会となった。

会 長 挨 拶

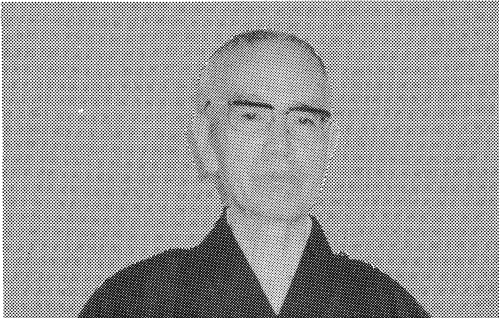
市仏連会長 柳下隆侃

新緑薫る候五月三十一日の総会
 に於て佐藤泰心副会長が健康を理
 由に任期を残したまゝ、辞任されま
 した事は残念であり、御健康を祈
 念申し上げ、今迄のご労苦に感謝
 致します。

本年は上部団体であります神奈
 川県仏教会が創設五十周年を迎え
 来る十一月八日大本山川崎大師平
 間寺に於て盛大なる祝典を挙行す
 べく準備委員会を設けて役員一同
 が努力せられておりますので、横
 浜市仏教連合会としても、この祝
 典が盛会裡に開催せられ、仏教興
 隆に資せられますことを願ひ、出
 来る限りの協力を致したいと存じ
 ます。

次に九月下旬には横浜市積尊奉
 讃会と共に、高野山参拝と奈良で
 開催されておりますシルクロード
 博覧会見学の旅が計画されてあり
 ます。高野山は昨年参拝致しまし
 た比叡山延暦寺と共に日本仏教確
 立の原点であります。一の橋から
 御廟に到る墓地の参道を歩むとき
 身がひきしまつて何とも云えぬ敬
 虔な気持ちになってまいります。

シルクロード博は「ローマ発、
 奈良着」の絹の道をテーマとして
 昭和六十三年四月二十四日から、
 十一月二十三日迄奈良公園と平城
 宮跡で開催せられております。玄
 装三蔵法師が此のシルクロードを
 経て天竺に行き、多くの仏典を持
 ち帰って、翻訳された事は有名で



あり私達は現在その恩恵にあづか
 っている次第です。本年六月二十
 二日より檀信徒十五人を連れて上
 海、西湖、西安、北京等を巡拝し、
 玉仏寺、大興禪寺、惠果空海記念
 堂、広齊寺等々に於ては同行の檀
 信徒と共に心経法楽、ご詠歌和讃
 を奉詠して、ご住職のご歓待をい
 たゞき、万里の長城、西安の西門
 城壁に登り、シルクロードの一
 端をしのび、そのスケールの大き
 いことと、中国人のねばりの強さ
 に驚歎致しました。奈良の都は西
 安の都を模してつくられた図面を
 見せられ感心すると共に九月の高
 野山、奈良シルクロード博覧会の
 旅行には是非皆様方と共に参加致
 したいと楽しみに致しております。
 特に来年は横浜市仏教連合会の教
 化の一翼を担って活動されている
 横浜市積尊奉讃会が創立満十周年
 を迎える意義ある年でありますの
 で、皆様方一層のご指導ご支援を
 お願い申し上げます、その発展と充実
 を祈念致すものであります。

扱て横浜市仏教連合会が奉仕致
 しております上大岡の神奈川県戦
 歿者慰霊堂月並法要当番は前回の
 会報にのせてありますが、その当
 番にあたりました各区仏教会のご
 出仕、是非ご協力下さい。

最後に残量の折柄健康に留意し
 法務、教化等に精進し、横浜市仏
 教連合会をもちたてて頂きますこ
 とを期待する次第であります。

戸塚区仏教会から 三仏教会の誕生

栄区仏教会長

光長寺住職
鷹巣道孝師

佐藤副会長さん ご苦労様でした

市仏連副会長 森山 正 城

一昨年の十一月に横浜市戸塚区が人口の増加にとまらぬ、行政上分区せざるを得なくなり、三分割された。よって戸塚区は、新たに戸塚区、栄区、栄区の三区が誕生した。それにともない、仏教会の方も行政と同様三分割するかどうか就いて、市仏役員も加わって相談したところ、区内の寺院の希望、要望をよく調査してのことにするとのことで、種々準備活動に入ってもらった。その結果地域も広い事であるので行政と同じように戸塚区仏教会も三分割することになり、本年度よりスタートを切る事となった。

よって横浜市仏教連合会は以前十二の支部であったのが十四の支部となった。細い事は支部だより欄をご覧ください。事にして、これよりなお活発で、地域仏教会として増々発展、ご活躍されることを切に希望する次第である。

新しい区仏会長さんは以前市仏連に於ても充分活動をなされていられる僧侶なるが故に、他の区の会長さんもぜひ種々な面で御協力をたむけていたゞく事を望む。

戸塚区仏教会長 高松寺住職
西尾俊雄師
中田寺住職
香川隆善師

佐藤副会長には公私共に色々お世話になりました。三期目に入って約五年間、市仏連副会長として又、中区仏教会長として、仏教会活動に大変活躍され、後輩の育成にも尽力されました。上人は割合無口な実行型で柳下会長の脇役として地道に協力してこられた。ところが近年は特に中国の寺院をご夫妻で参拝し、ご体験を会報に報告され、仏教会親善交流の役目も果たされてきました。

市仏連の会所が何時も西有寺さんでお世話になっていきますので、隣りという便利さから再三帰りにお邪魔をしご馳走になりました。このような機会でも失礼ですが同席を申し上げます。

佐藤上人が今年六月突然辞任なされた理由はご長男、佐藤功岳師に住職を継承せられたからであります。永年本堂にご苦労さまでした。鮮やかな退寺式でした。

立派なお方と申し上げるのは当然のことながら更に申せば最高に幸せのお方と申します。四十年間努力、精神なされ、大円寺の復興仏門の興隆をも貴み重ねて来られ

今日見事に後任住職を選定されたことは、まことに感銘致します。このような時期の決定は種々事情があつて難しいものと思ひますがしかし佐藤上人のように見事に後任者を決められたことは素晴らしい。

いことであり私も参考にしたいと思ひます。なかなか急に出来るものでもなく、年月をかけ、育て、準備してこそその結果だと思ひます。本堂にご苦労さまでした。

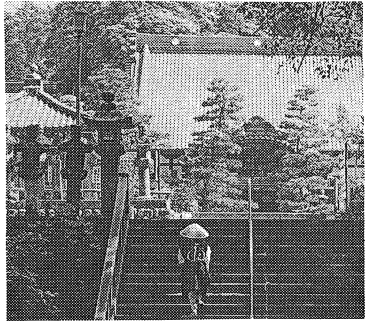
佐藤上人の後任には、共に市仏連で活躍してこられた、旭区の長昌寺住職、玄野孝善師が、過日の総会で副会長兼庶務と云うことで承認されました。会計は現状通り内野公雄師、庶務、会報のお手伝いと云うことで今年から備前恭忍師をお願いして運営されています。

時事雑感

過日の仏跡参拝旅行には、私共釈尊奉讃会会員も参加させていたゞき、楽しい一日を過ごさせていたゞきました。事は心より有難く御礼申し上げます。

袋井市の名蹟、可睡斎と法多山の参拝することは、予ねての念願の達成でありまことに幸せであります。

同寺は広大な書院建築をもつて知られております。至るところに絢爛たる画飾が施こされていることはその通りで、殊に日本一と称されるお手洗いに案内されたのは聊か面食りました。又同寺は牡丹で有名な寺院であります。その季節には、もう一度参詣いたしたいと思ふ次第です。



横浜市釈尊奉讃会
会長 宇野 忠 夫

り、袋井と掛川の両市に跨っているであろうと思ひました。高い石段を息を切つて登ると深い山林に囲まれた幽邃な中に建立されていられる名刹であります。

私共、俗人はこのような楽しい参拝旅行の一日の中で、仏教徒としての自覚を高め自然に信仰心を深める機会を得るといふ次第で、やはり横浜市仏教連合会と横浜市釈尊奉讃会の一体としての行動のお蔭と感ずるものです。

開きが今年には市長さん御出席のもと盛大に行なわれました。この土地の海が十年ぶりで大勢の子供達の遊び場として使われる情景を前にして何かしらホットした感に打たされました。同時に我が郷土な驚きの感を感じ得ませんでした。

平和日本にはこうした少年達の楽しい場面もありますが、毎度報ぜられるイラン・イラクの戦争は長いものになりました。ニュースの伝えるところによれば、両国共に以前から科学兵器を用いていたということが報ぜられておりますが、このように非人道的な行為こそ許されるべきことではありません。

また中国残留孤児の来日の度に思うことは、まことに年月が経過しすぎて肉親の亡くなった孤児も多く居るのではないかと申すたゞ、悲惨の極みであります。一人でも多くの孤児に肉親見つかるよう祈る次第であります。こうした悲しいことも人間のまことに愚かなる罪悪の結果です。人類すべて宗教心を深め人間愛に徹することだと思ひます。

私共は仏教徒として日夜、み仏の深いご慈悲に預つて身の幸せを思い釈尊の偉大なる御恩徳に感謝を捧げるものであります。皆さまの御自愛をお祈りして欄筆いたします。

ホットニュース

市仏連副会長 森山正城

今年度に入って会合が増えて、きました。県仏創立五十周年記念大会準備会議「十一月八日、川崎大師、平間寺さんに於いて」が部分的に度々行なわれています。

記念すべき大会故、市仏連諸大徳各位には是非ご協力、ご参加下さいませようお願いします。

次は税務調査のことですが今年に入って各税務署が熱心にお寺を訪問しています。私共は帳簿付けは苦手で専門ではありませんから完璧のもの出来ませんが、しかしてせめて出納帳くらいは出来ていないと説明のしようがありません。僧侶が出納帳を記して算盤を入れるのは若干わびしい感もしますがそこは時代の流れで仕方ない事昔のように行脚をしていた時代とは違いますから、それなりに切替えて行かなければならないと思われし税務対策については、各区仏において会長さんを中心に色々な説明会、検討会等もおやりでしょうが帳簿の付け方、或いは経費のおとし方の可、不可等、もしもお悩みの点がありましたら事務局へ問い合わせ下さい。出来るだけのお答えを準備します。

話しは色々になりますが八月に土光さんが急逝されましたこと皆様もご承知の通りです。心中よりご冥福をお祈り申し上げます。

皆さまもご存じと思いますが、土光さんは怒号さんと噂された人と聞いていますが、本当に事業を

愛し人も愛し国を愛すればこそ又一生懸命になればこそ怒号も出たのではないのでしょうか。過日のニュースの中で、土光さんの日常生活は非常に質素である。しかも自分に厳格で大計に向って不動の精神で進まれ、更に浄財を教育施設に投入されておられたと聞きまいた。誠に立派なお方であったと思います。誠に暮らし若人を育ててゆく、まさに仏道を行ずる姿ではないでしょうか。

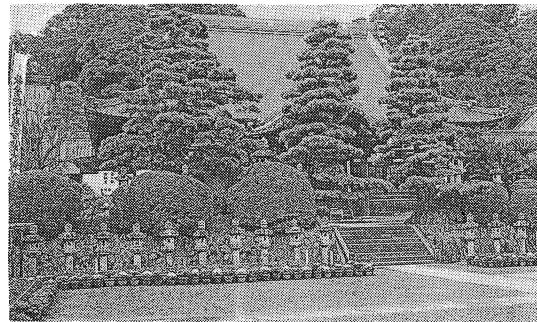
可睡斎

法多山をたずねて

春の仏跡参拝旅行も恒例となつて次第に内容が充実して来たように思える。

六月七日(火)バスは合計四台配車、一号車は、保土ヶ谷旭区と瀬谷区の会員を乗せて長昌寺前から発車、二号車は、港北区、神奈川区、西区、磯子区の会員を乗せ、横浜駅西口天理ビル前から発車、三号車は金沢区の会員を乗せ、金沢小公園前を発車、そして寿号は緑区の会員を乗せ中山駅前を発車し、東名海老名サービスエリアで合流、一路可睡斎へと向つた。

天気も上々で、暑いくらいである。正後前可睡斎に到着、記念の写真撮影にポーズをとる人もみられる。本堂に入って般若心経を読経し本尊さまに参拝、そして市仏連副会長森山正城師の挨拶、続いて



奉讃会長宇野忠夫氏の挨拶、そして可睡斎の僧侶から法話を聞いた、最後に諸参拝観し、食事のレストランに向つた。

午後一時を廻つた頃などで、せいりかな当は美味であった。その後真言宗の法多山に参拝、同じようにして帰路についた。

可睡斎や法多山は遠州三山の内のこの他に油山寺がある。時間の関係で油山寺は参拝しなかつた。こうして毎回、回数を重ねて来喜ばしいのは参拝者の態度が良くなつて来た事だ。法話の時も大変聞きじょうずになつたし、バス車

内も楽しくなつて来た事である。来年もまたすばらしい参拝旅行を計画し、皆さまの心に残るおまじりができるよう役員一同努力する次第である。ぜひとも次回も善男善女の参拝者をつのつていたゞくよう、寺院尊台の御協力をお願いする。また行先、内容等についてのご希望、要望等がございましたら市仏連事務局へお手紙でお寄せいたゞきますよう、よろしくお願い申し上げます。

さて、最後に今回御参加いたゞきましたご寺院を紹介して筆を置く事にいたします。

- ◎ 保土ヶ谷旭区仏教会より
長昌寺・福聚寺・三仏寺
 - ◎ 瀬谷区仏教会より
徳善寺・善昌寺・宝蔵寺・宗川寺・西福寺
 - ◎ 港北区仏教会より
東照寺・東林寺
 - ◎ 神奈川区仏教会より大安寺
 - ◎ 西区仏教会より林光寺
 - ◎ 磯子区仏教会より海照寺
 - ◎ 金沢区仏教会より
薬王寺・金竜院・禅林寺・称名寺・宇野奉讃会長
 - ◎ 緑区仏教会より
福聚院・福泉寺・観護寺
- 以上二百七十名の参加を得た。

昭和六十三年度 市仏役員名簿

名譽会長	大本山総持寺梅田信隆	会 長	観音寺住職 柳下降侃
顧問	金竜院住職 志村慎吾	副会長	福聚寺住職 森山正城
参 与	新善光寺住職福永隆昭	副会長兼専務理事	長昌寺住職 玄野孝善
参 与	西有寺住職 横山敏明	会 計	弘聖寺住職 内野公雄
		会計監査	正泉寺住職 野沢隆幸
		会計監査	松隆寺住職 川上敬吾
		税務専門委	福聚院住職 齊藤隆法
		墓地専門委	円満寺住職 西郊良光
		顧問弁護士	東京東上野 遠藤隆也
		鶴見区会長	宝泉寺住職 横溝晃信
		神奈川区会長	薬王寺住職 黒多良弘
		西区会長	円満寺住職 西郊良光
		中区副会長	東福院住職 上柳毅明
		南・港南区会長	常清寺住職 片山宣英
		保土ヶ谷・旭区会長	正観寺住職 善浪鉄心
		磯子区会長	東漸寺住職 伊達精秀
		金沢区会長	薬王寺住職 鹿野融雅
		港北区会長	東林寺住職 滝田東閣
		緑区会長	福聚院住職 齊藤隆法
		戸塚区会長	高松寺住職 西尾俊雄
		泉区会長	中田寺住職 香川隆善
		栄区会長	光長寺住職 鷹巣道孝
		瀬谷区会長	徳善寺住職 尾崎正恵



横浜市市仏教連合会 62年度収支計算書

収入金 2,331,352円
 支出金 1,759,590円
 総括表 差引額 571,762円
 (自62年4月1日 至63年3月31日)

収 入 の 部			
科 目	予 算 額	決 算 額	増 減 △
①会費収入	844,000	808,000	
1. 会 費	844,000	808,000	
鶴 見 区	70,000	70,000	
神 奈 川 区	60,000	60,000	
港 北 区	114,000	114,000	
緑 区	100,000	100,000	
西 区	58,000	58,000	
中 区	46,000	46,000	
保土ヶ谷・旭区	56,000	56,000	
南・港南区	114,000	114,000	
磯 子 区	38,000	0	
金 沢 区	52,000	52,000	
戸 塚 区	120,000	120,000	
泉 区			
栄 区			
瀬 谷 区	16,000	18,000	
②雑部金	1,100,000	1,004,419	
1. 雑 入 金	200,000	204,419	
2. 寄付金及繰入金	900,000	800,000	
③過年度収入金	0	0	
1. 会 費	0	0	
④前年度繰越金	518,933	518,933	
1. 前年度繰越金	518,933	518,933	
収 入 合 計	2,462,933	2,331,352	

横浜市市仏教連合会 63年度歳入歳出予算書

歳入金 2,553,762円
 歳出金 2,553,762円
 総括表 差引額 0円
 (自63年4月1日 至64年3月31日)

歳 入 の 部			
科 目	予 算 額	前年度予算額	差引増減△
①会費収入	844,000		
1. 会 費	844,000		
鶴 見 区	70,000		
神 奈 川 区	60,000		
港 北 区	114,000		
緑 区	100,000		
西 区	58,000		
中 区	46,000		
保土ヶ谷・旭区	56,000		
南・港南区	114,000		
磯 子 区	38,000		
金 沢 区	52,000		
戸 塚 区	120,000		
泉 区			
栄 区			
瀬 谷 区	16,000		
②雑部金	1,100,000		
1. 雑 入 金	200,000		
2. 寄付金及繰入金	900,000		
③過年度収入金	38,000		
1. 会 費	38,000		
④前年度繰越金	571,762		
1. 前年度繰越金	571,762		
合 計	2,553,762		

支 出 の 部			
科 目	予 算 額	決 算 額	増 減 △
①総務費	420,000	243,860	
1. 事 務 所 費	100,000	55,000	
2. 事 務 渉 外 費	200,000	88,860	
3. 通 信 交 通 費	120,000	100,000	
②需要費	550,000	573,730	
1. 会 費	400,000	488,730	
2. 慶 弔 費	150,000	85,000	
③事業費	1,050,000	812,000	
1. 税務墓地委員会費	100,000	0	
2. 涅槃法要費	400,000	310,000	
3. 会報発刊費	250,000	202,000	
4. 奉讃会事業協力費	300,000	300,000	
5. 仏跡参拝費	0	0	
④助成金・負担金	180,000	50,000	
1. 助 成 金	150,000	40,000	
2. 負 担 金	30,000	10,000	
⑤雑支出金	200,000	80,000	
1. 過年度支出金	0	0	
2. 負 担 金	200,000	80,000	
⑥予備費	62,933	0	
1. 予 備 費	62,933	0	
合 計	2,462,933	1,759,590	

歳 出 の 部			
科 目	予 算 額	前年度予算額	差引増減△
①総務費	420,000		
1. 事 務 所 費	100,000		
2. 事 務 渉 外 費	200,000		
3. 通 信 交 通 費	120,000		
②需要費	550,000		
1. 会 議 費	400,000		
2. 慶 弔 費	150,000		
③事業費	1,150,000		
1. 税務墓地委員会費	100,000		
2. 涅槃法要費	400,000		
3. 会報発刊費	250,000		
4. 奉讃会事業協力費	300,000		
5. 仏跡参拝費	100,000		
④助成金・負担金	180,000		
1. 助 成 金	150,000		
2. 負 担 金	30,000		
⑤雑支出金	100,000		
1. 過年度支出金	0		
2. 雑 支 出 金	100,000		
⑥予備費	153,762		
1. 予 備 費	153,762		
合 計	2,553,762		

次年度繰越金 571,762円
 63年5月31日

63年5月31日

上記のとうり収支決算書を提出致します。

上記のとうり歳入歳出の予算案を提出致します。

横浜市仏教連合会 会長

横浜市仏教連合会 会長

支部だより

金沢区仏教会

会員諸大徳の御支援、御協力をいただき、金沢区釈尊奉讃会（会長、宇野忠夫氏）とも手をたずさえ、今年上半年は左の行事を行いました。

- 1・1 教化新聞「慈光」第79号発行 編集主任 大沢憲明師
- 1・16 区仏教会新年総会

区仏会員及び区仏教婦人会三役出席

- 第37回仏教文化講演会会計報告 行事主任 小沢昌弘師
- 第26回交通安全祈願祭会計報告 行事主任 須方隆証師
- 税務講習会報告 税務研究会主任 佐伯隆義師

- 1・20 金沢区釈尊奉讃会と共催 石和温泉と甲州七福神めぐり一泊巡拝旅行 バス二台
- 区奉讃会事務局長 小西智道師
- 2・15 第28回涅槃会並びに詠歌題目奉詠大会 於六浦 長生寺

- 市仏教連合会柳下隆 会長
- 市釈尊奉讃会滝田東潤事務局長 来臨 行事主任 六浦文英師
- 2・27 花まつり準備総会

- 於 瀬戸 泥牛庵 涅槃会会計報告 了承
- 花まつり大会実施案検討 承認
- 4・2 花まつり大会準備

於 東朝比奈 千光寺 会員及び区仏教婦人会員出仕

- 4・3 第42回花まつり大会

地元児童鼓笛隊、明倫学園バンド部、ブラスバンド部、来賓 稚児、詠歌念仏講員、寺院が花御堂と共に練供養行列の後大会会場にて法要式典 举行

於 東朝比奈 千光寺

- 5・20 区仏定期総会 於金沢園 花まつり会計報告 和田大雅師
- 昭和62年度会計報告
- 昭和63年度予算案説明 会計 能登有栄師

仏教文化講演会概要説明 行事主任 小沢昌弘師 以上承認

- 6・23 金沢区釈尊奉讃会（会長 宇野忠夫氏）と共催巡拝バス旅行 中山 法華経寺 潮来方面 参加一七七名 バス四台 事務局長 小西智道師
- 7・1 教化新聞「慈光」第80号発行 編集主任 大沢憲明師
- なお次の行事を予定しています
- 9・11 仏教文化講演会 講師 長野 巴福寺住職藤本幸邦先生 千葉 仏母寺住職安井玉峰先生

西区仏教会

昭和六十三年度の活動が始まって早や三ヶ月、月日の経つのは早い。

区仏の活動は例年の様に春の花まつり、暮の歳末助け合い募金、中間での研修会で大きく事業が予定されており、この事業をこなしていると言うのが現況である。

特に春の花まつりには特に力を入れて釈尊の生誕のP・Rに勤めている。

今年には久保町、円定寺（臨済宗建長寺派）を会場に、稚児約五十名を募集、同じ久保町、利正寺（真宗大谷派）を出発、西区でも有名な藤棚商店街をパレード、稚児を御覧になられた商店街の方々は、あ！お釈迦様の誕生日のパレードねと話しをしておられた。商店街を一巡して円定寺さん迄約三十分

稚児達は元気に歩いてくれた。到着後 仏法要が区内住職方によって勤修され、又区内の檀信徒が本堂一杯に入って、法要に参列、甘茶をかけた後、市仏連会長、柳下大僧正様の御法話、お釈迦様の誕生の意義を拝聴され、喜びと有意義な一時を過ごされ檀信徒は帰路につかれた。

住職方は法要後反省会を開き、来年に向けて話し合いをした次第です。

とに角行事を通して仏教のP・Rに勤めねばと言う皆様方の意見であり、毎年このこと乍ら区内住職方は全員が良く出仕に、役配に精を出して頂いております。

この事は又年末助け合い募金にも顕著に表われ、毎年五十万位の募金額が各寺より寄せられます。半分は社会福祉協議会に、半分は区内の困っている方に区役所を通じて配分されております。

この事も表にはあらわれませんが、地道な区仏の会員の活動と言えましよう。

今日の日本はあまりにも恵まれて、切な事を忘れかけている一面がございます。少なくとも仏教会の会員は、精神界の指導者の集まりでございますのでこの点についてもっとグローバルな救済活動がなされても良いと思っております。

市仏連あたりで一大運動を展開し、東南アジアや、アフリカの栄養失調の子供達を救済するキャンペーン位は是非展開して頂きたいと思えます。

一宗一派に適する事のない普遍的な救済運動が今仏教界に求められているのだと思えます。

戸塚区仏教会

四月八日（金）午後二時

今年には例年に比べ、桜の開花も遅れたが、恒例の「花祭り」法要が、清源院に於いて厳修された。協賛 区商店街連合

日本舞踊西風十九恵社中

午前中より出頭寺院方によって「花御堂」があざやかな季花によって荘厳される。定時、清源院主導師によって法要・甘茶の灌仏がされ、続いて各寺院世話人方及び参詣者が灌仏してお祝いをします。特に母親に伴なわれたの善童男女のぎこちない灌仏が印象的であった。引続いで西風十九恵社中による法要は、誕生会の祝事をいっそう、もりあげる。

五月八日（日）午前十時

区役所前の忠魂碑前に於いて、日清、日露戦以来の各戦事での戦没者「慰霊祭」が厳修された。連合町内会主催により神事に続

いて、各宗寺院方の随喜を得て、普門品偈の読経と回向が、五月の新緑の木葉にも颯々と響き徹る平和祭であった。

また、各地域に於ても、それぞれ慰霊祭が修行されている。六月十三日（月）午後二時

役員会・総会が清源院に於いて開催された。

行政上の戸塚・泉・栄の三分区に伴ない、昨年末の準備期を経て本年度より、仏教会もそれぞれの三分区により活動することになった。

- 戸塚区 三十四ヶ寺
- 会長 西尾俊雄 高松寺
- 泉区 十二ヶ寺
- 会長 香川隆善 中田寺
- 栄区 十四ヶ寺
- 会長 鷹巣道孝 光長寺

各寺院の仏教会に対する関心と御協力をお願いし、特に泉、栄両区の組織のために期待する。

八月十六日（火）夕暮 慣習行事になりつつある柏尾川に於ての「盆供養精霊流し」と花火大会は、観光協会の方力入れもあって、年々参詣も多くなり、「仏心」のやすらぎをおぼえる風物詞になっている。



支部だより

瀬谷区仏教会

長い歴史と伝統をもって、地域の文化、教育の中心として広く人々に親しまれて来た寺院、これは偏に地域檀信徒の皆様方の深い信仰、外護のお蔭ではないでしょうか。また寺院は地域の人々の信仰と教養と、憩いの場でもありました。住職や寺族の奉仕的献身的な働きと、檀信徒各家の先祖代々の霊が祀られており、報恩感謝の中心的な場としての意義が在り、こうした相互作用、交流の中に寺院は存在したと思えます。

周辺の都市化、葬祭等の多忙によって地域との一体化、親密度がややもすればくづれつつある風潮は否めないものがあります。しかも、他産業との関連の中で企業化しつつあるとの批判も耳にする昨今であります。

こうした社会的環境の中において公益法人としての寺院が地域の人々の教化なり、安心確立への働きかけができればまさに一打の光明を加えるものでありましょう。改めて宗教の場としての寺院の原点復帰は必要かつ大事なことで考えられます。

五月の区内の忠霊慰霊法要は区内寺院の協力で奉仕、法話等によって関係皆様との交流も深まっております。

市仏連、市釈尊奉讃会主催の仏跡参拝旅行も多数の参加を得て、

地区皆様とのふれ合いと行事になりつつあります。

これも住職各位の御協力と感謝申し上げ、たまたま区制二十周年を迎え、緑と心の祭り、の協賛事業として八福神テレホンカードの寄付等、種々の法要、行事を通して宗教的ゆとりと安心を得せしめ、もってその情懷を深めることは意義あるものと考えられます。

港北区仏教会

仏教会の年間行事も、春夏秋冬に従って会員の協力を得て次第に充実している。

春は「花まつり」の行事が、特に催す会所の子供会の協力も得られるようになり、交通のほげしい中でも、白像を引いて行なう行事には、ひとしお釈尊の尊さがしのばれる。

夏は鶴見川で、先祖供養としてとうろう流しを行っているが、年々充実し、夏の夕べを静かにとうろうの流れに両手を合せる姿が見られるようになり、先祖を思う心がよみがえって来る思いである。

秋には、僧侶や在家が一つになつて仏跡参拝旅行に参加し、心を一つにし両の手を結びよい旅行に努めている。

そして、冬は僧侶の勉強会として税務研修なども開いている。

こうして一つ一つ行事を活発にしていくには何となくとも会員各位の協力がなくては、とうてい出来るものではない。それには常に人と人のコミュニケーションがなるといっても大切である。

我々僧侶は特にこれからは、手と手をとって合つて仏教活動を盛んにして、在家の人々を教化し指導していく事が大きな任務である。

保土ヶ谷区仏教会

4月7日 十時旭区白根町養護老人ホーム白寿荘に花まつり慰問、仏教会にてお年寄りにお土産を差し上げ花まつりに因んで長昌寺住職の四十分巨る法話があり一同感激する。

4月17日 七時役員会の開催、本年度の総会及び種々打合せ等、正観寺に於て

4月26日 六時昭和六十三年年度総会開催、中華街華正楼本館に於いて出席寺院十八ヶ寺、新年度役員選出、事業計画、予算決算等種々審議可決する。

5月19日 那須大雄寺に春の仏跡参拝、参加寺院十二ヶ寺、バス四台、参加人員一四〇名、栃木県那須大雄寺は黒羽藩主大関家の菩提寺で曹洞宗建物総べてが萱葺きで有名、十六羅漢、枕かえし幽霊の掛軸があり方丈様より御法話を頂き一同感激、帰途千本松牧場を見学有意義に春の仏跡参拝を終った

5月28日 二時新旧役員事務引継ぎ。於正観寺。出席寺

院、長源寺、正円寺、三仏寺、随流院、見光寺、長昌寺、正観寺、福聚寺、八ヶ寺

5月31日 市仏総会に会長、副会長が出席 於西有寺

6月7日 市仏主催仏跡参拝に参加、行先可睡斎等。

6月22日 午後一時半昌山重忠公慰霊法要。於葉王寺。

当日は旭区内寺院の出席により住職志村輪孝師の導師により法要が営まれた後、志村住職の法話、また重忠公にまつわる詩吟、舞踊が披露され盛会であった。



6月23日

市仏総会に会長、副会長出席、市仏創設五十周年記念大会について協議があった。市仏記念式典は11月8日川崎大師で行われる。

事務日誌

- 63・5・20 三役会の開催於福聚寺
- 63・5・21 市仏連発六三五号の発送
- 63・5・31 常務理事会の開催於西有寺
- 63・5・31 市仏連第十五回総会の開催於西有寺
- 63・6・6 仏跡参拝旅行最後の確認をとる
- 63・6・6 佐藤泰心前副会長退職退任の祝電を打電
- 63・6・7 春の仏跡参拝旅行の実施・可睡斎・法多山の参拝
- 63・8・20 慰霊堂奉仕当番表と釈尊奉讃会報第十六号の発送
- 63・8・28 三役会の開催於福聚寺
- 63・8・28 会報第二十七号の編集会議於福聚寺

編集後記

◎ 来年はいよいよ横浜博覧会とみらいの年である。

◎ 仏教会としてもこういうところで広く布教活動ができるとうよいと思う。若手僧侶の今後の活動を大いに希望する。

◎ 戸塚区仏教会が三つに分かれ細分化した。より細かに活動ができるのではないかと感ずる。手と手をつないで、仏教を大切に育て、広めてもらえれば期待する。